

さいたま市立病院だより えがお

Vol.53

透析療法の紹介

腎臓の主な働きとして「尿をつくる」事により、老廃物を体外に排泄する働きがあることはよく知られていますが、その他にも「水分や電解質（ナトリウム、カリウム、カルシウム他）、酸塩基平衡などの体内バランスの維持」「血圧の調節」「ビタミンDの活性化による骨健康の維持」「造血ホルモンの分泌」など多くの働きをしており、体内の安定（恒常性）を維持する重要な臓器です。

こうした腎臓の働きが悪くなると、身体に浮腫が生じたり、血圧の上昇、貧血の進行…といった症状が現れ、やがて意識障害や心不全、呼吸困難などの尿毒症となり、放置すると生命維持が困難になります。この様に腎臓の働きが低下し、体内の恒常性維持が出来ない状態を「腎不全」と呼びます。

この様な状態において、内服薬や点滴薬による治療を行っても、体内の恒常性が維持出来ない場合には透析療法が必要となります。透析療法とは、腎臓の働きの一部を補うもので、体内の老廃物を取り除き、水分や電解質のバランスを一定に保つ働きを腎臓に代わって行う治療法です。

透析療法には、透析膜（ダイアライザー）を用いて機械的に血液を浄化する「血液透析」と、患者さんご自身の腹膜を利用し、透析を行う「腹膜透析」の2つに大きく分けられます。現在当院では、慢性的に腎機能が低下し、永続的に透析が必要となる維持透析（血液透析）を中心に診療を行なっております。安定して透析が開始された際には、地域の医療機

関に御紹介させて頂き、治療を継続して頂きます。

また、当院は急性期病院であり、様々な病態・病状の患者さんが入院されます。例えば、敗血症、重症心不全、虚血性心疾患に対するカテーテル治療や外科的手術等により集中治療が必要な場合はその原病の影響によって続発的に腎臓に障害を起こし、「急性腎障害」や「慢性腎不全の急性増悪」を併発する事があります。この様な状況では、病態の回復まで、一時的な透析療法を行ったり、患者さんの全身状態によっては、循環動体に急な変化をあまり与えず、24時間ベッドサイドで透析を行う持続的腎代替療法を行う場合もあります。

さらに、透析療法の技術を応用して、血中から人体に有害な病因物質（自己抗体、免疫複合体、エンドトキシンなど）や細胞（リンパ球や顆粒球など）を除去し、病態を改善させるアフェレーシス療法も行なっています。

今後も院内各診療科・多職種及び、かかりつけ医の先生方の医療機関との連携を深め、診療水準の向上を目指すと共に、さいたま市の腎臓病診療に少しでも貢献して行きたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



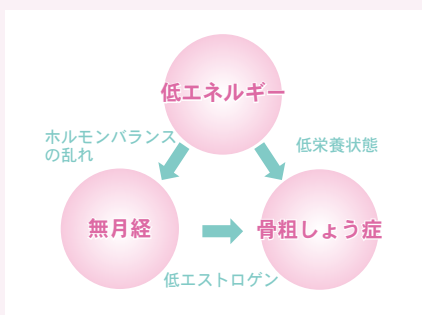
内科（腎臓）
岩下山連

運動・スポーツに関する診療をしています

スポーツ医学総合センターは、学生スポーツ、スポーツ愛好家、プロスポーツ選手といったお子様から高齢者まで、運動・スポーツを行うすべての人の活動を支えるべく、既存の診療科の枠を超えた医療を行い、スポーツ傷害の予防・治療、競技力の向上、市民の健康増進を図るため、令和5年5月に診療を開始しました。



スポーツ外傷、障害の治療について、これまで当院で培った多くの経験に基づき最新の知見・技術を取り入れた手術やリハビリテーション、栄養サポートなどにより、最良の状態での競技が行えるように医療を提供いたします。



女性アスリートの三主徴

また、女性アスリートの問題点として挙げられる、月経周期の調整や女性アスリートの三主徴として挙げられる低エネルギー、無月経、骨粗しょう症・疲労骨折については、産婦人科の専門医師を中心に栄養面、心理面など様々な角度からサポートする体制を整えています。特に中高生など若いアスリートに医療受診をしやすい環境づくりを心がけています。

運動する体を支える骨は健康に生活するべく、すべての人にとって大事な組織になっておりますが、普段症状を現わさないため、弱くなっていても気づかずに過ごしている場合が多々あります。特に50歳以上の女性ではその傾向が強くなり、骨粗しょう症に伴う骨折により、健康寿命を短くしてしまいます。最新の骨密度測定器DEXAと、血液検査などで骨代謝状況を把握して適切に治療することにより、健康に運動することができるようサポートします。

アスリートのための運動能力検査「アスリート検診」を自費診療で行っています。肩関節および膝関節周りの筋力評価、心肺機能測定、投球動作解析の3項目となります。現時点の体力・運動機能の評価や、継続的に行うことでトレーニング効果の評価をすることができます。アスリートレベルアップ、競技力の向上、健康増進にお役立てください。

① BIODEX による筋力測定 (対象：中学生以上 5,500 円) (税込)

等速性運動における筋力の測定をすることができます。等速性運動の筋出力の測定は関節周囲の最大トルクや動きの中の最大筋力を知ることができ、より実践的な筋力測定といえます。現時点の筋力、左右バランスの確認、ケガの後の回復度合いのチェック、継続的なトレーニング効果を見ることができます。

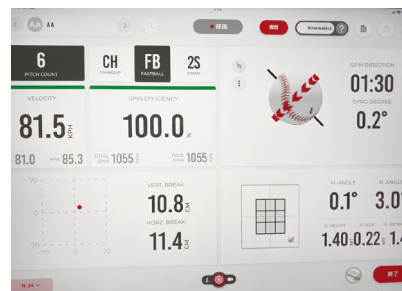
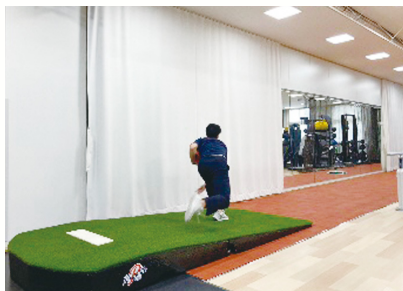


② 心肺機能測定 (対象：高校生以上 17,600 円) (税込)

持久力の指標となる、最大酸素摂取量 (VO2max) やAT (Anaerobic Threshold; 無酸素性作業閾値) を計測します。現時点の持久力を知ると同時に、心拍数と併せて把握することでトレーニング強度の設定に役立てることができます。

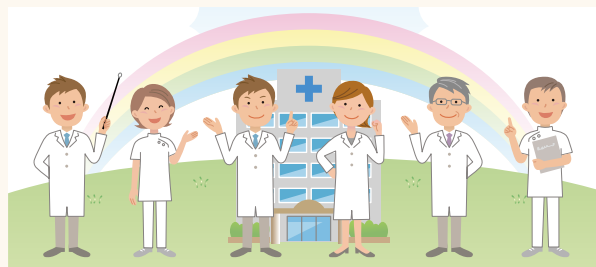


③ 投球動作解析 (対象：小学5年生以上 13,200 円) (税込)



投球されたボールの回転数、回転軸、ジャイロ回転軸、変化量(縦、横)などを詳細に計測することのできるラプソードとカメラを用いて、ピッチング時の動作を解析します。ピッチングフォームや投球に必要な身体機能を評価します。

新任医師のご紹介



※令和5年4月入職 ※紙面の都合により、一部のご紹介となります



救急科 医長 渡邊 佳太郎

さいたま市の医療に貢献できるよう日々努力します。

趣味又は座右の銘

●ゴルフ

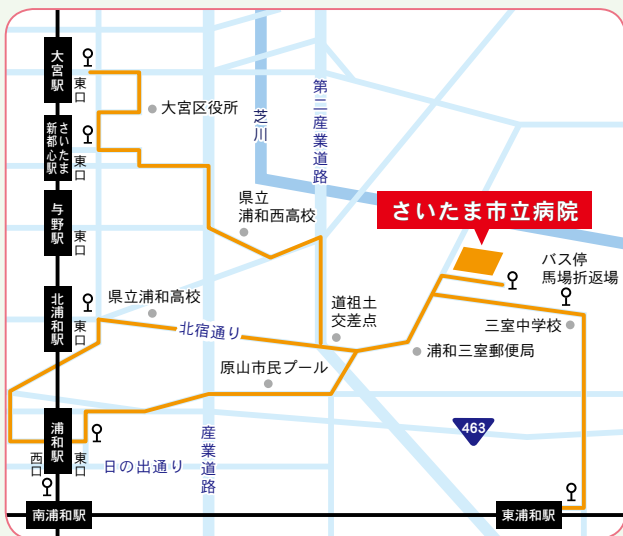
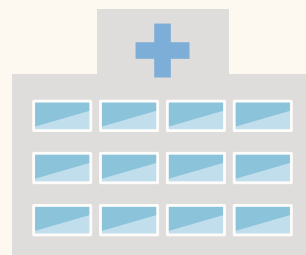


放射線診断科 医師 竹下 諒

画像診断、IVR（画像下治療）どちらもがんばります。

趣味又は座右の銘

●料理、ドライブ



さいたま市立病院
住所 : さいたま市緑区大字三室2460
電話 : 048-873-4111
ホームページ : <https://www.city.saitama.jp/hospital/index.html>

令和5年9月発行 発行者: さいたま市立病院 院長 堀之内 宏久

アクセス

- ・JR「北浦和駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 15 分)
- ・JR「浦和駅」から
東口 国際興業バス「南台」行き「市立病院」下車(約 20 分)
西口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 25 分)
- ・JR「さいたま新都心駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 30 分)
- ・JR「東浦和駅」から
国際興業バス「馬場折返場」行き 終点下車(約 15 分)、
下車徒歩 5 分
国際興業バス「市立病院」行き 終点下車(約 20 分)
- ・JR「大宮駅」から
東口 東武バス「さいたま市立病院」行き 終点下車(約 40 分)



※この印刷物は1,200部制作し、1部あたりの印刷経費は66円です。